

日光地域まちづくり懇話会

日 時：令和元年 6 月 23 日（日）14:00～

場 所：日光庁舎

テーマ：日光地域の観光対策

[対応方針・対応状況]

①大谷川右岸、七里地区への駐車場整備について

〈参加者の発言要旨〉

恒久的なもの、地域に誘導できるものという観点から大谷川の右岸、七里地区の河川敷を利用した駐車場の整備はできないでしょうか。

〈市側の発言要旨〉

大谷川右岸七里地区の河川敷駐車場の整備については、昨年も同じような提案をいただいていたので、市でも検討しました。その中で一番の課題が、七里地区の駐車場から二社一寺や日光駅などへの移動方法です。バスの運行についてなかなか課題整理ができないため、現在も引き続き検討しているところです。

◇対応方針・対応状況

大谷川右岸七里地区の河川敷の駐車場整備については、今年度開設した臨時駐車場から距離もあり、一元管理が難しいため、当面は大谷川左岸菰垣面地区の河川敷等の公共用地を活用した臨時駐車場開設業務を行います。しかし、駐車場の規模としては、十分な面積があるため、関係機関と協議を行い、引き続き課題整理を行います。

②民有地を使った駐車場整備について

〈参加者の発言要旨〉

上鉢石町、中鉢石町の裏側には、空いている民有地が非常に増えています。かなり広大なところなので、駐車場の整備を検討できませんか。

〈市側の発言要旨〉

現在、公共用地で空いているところを主に探して臨時駐車場の開設をしてい

るところです。上鉢石町、中鉢石町の後ろの大きな民地ですが、利用が可能であれば、a k i p p aという登録等もやっていますので、どういう利用ができるかも含めて、今後、地元の方の声を聞きながら調査のほうに入っていきたいと思えます。

◇対応方針・対応状況

現地を確認したところ、民有地は既に民間の駐車場として利用されており、市において駐車場整備は困難です。また、民有地の所有者からa k i p p a登録の協力を得られた場合には、登録の支援などを行います。

③臨時駐車場の有料化について

〈参加者の発言要旨〉

今年、大谷川左岸の臨時駐車場が、学校の校庭や栃木県土木事務所を利用して、約500台駐車できたという話を聞いています。それは無料駐車場だと思います。二社一寺の駐車場でも料金を貰っているので、その駐車場も有料化にすることは考えられないでしょうか。

〈市側の発言要旨〉

当初、料金徴収も考えて、日光土木事務所、日光砂防事務所とも協議しましたが、あくまでも一時使用のため大谷川左岸臨時駐車場での料金徴収は難しいという結果になりました。学校敷地内、日光砂防事務所駐車場、日光土木事務所駐車場も条例等で管理している施設なので料金徴収は難しく、当面の課題として、駐車料金とは別の方法でお金をいただけないか検討しています。

◇対応方針・対応状況

駐車場料金の徴収については、条例等の制限から実施が困難です。しかし、今後観光事業として展開することを目的として観光部門との調整に着手し、更に持続可能な事業として展開していくために、収入源の確保について検討を進めています。

④臨時駐車場からの送迎バスの料金徴収について

〈参加者の発言要旨〉

以前、アーデル霧降に無料駐車場を設けたとき、送迎バスは無料だったと思います。例えば七里地区に駐車場を設けたとして、送迎バスの料金をいただいたらどうでしょうか。

〈市側の発言要旨〉

東武バスと協議を行った経緯がありますが、路線バスとしての法的な課題や採算性などにより、実現は難しい状況です。

七里地区の河川敷駐車場の活用については、多くの方からご意見をいただいていますので、何か良い方法がないか、担当課で研究しているところです。

◇対応方針・対応状況

大谷川右岸七里地区の河川敷の駐車場整備については、今年度開設した臨時駐車場から距離もあり、一元管理が難しいため、当面は大谷川左岸菰垣面地区の河川敷等の公共用地を活用した臨時駐車場開設業務を行います。しかし、駐車場の規模としては、十分な面積があるため、関係機関と協議を行い、引き続き課題整理を行います。

⑤旬の観光情報の発信について

〈参加者の発言要旨〉

観光の情報は、最も旬で、今の時期が一番という情報が、全ての方に喜ばれると思うのですが、その情報に我々は疎いのです。市の方からアドバイスみたいなものがあるシステムがあれば、我々は心強いかなと思います。

〈市側の発言要旨〉

情報を上手に伝えていけないといけません。状況がわからなければお客様にも来ていただけませんので、情報のデータ収集・伝達に力を入れていきたいと思っています。栃木県の事務所や、国立公園事務所等と連携して、旬の情報をもらいながら、どのように上手に発信していくかというところが、来年度以降の課題なのかなと思っています。

◇対応方針・対応状況

市における旬の観光情報の発信につきましては、日光市観光協会のホームページ「旅ナビ」により行っています。また、観光協会ではフェイスブックやツイッターを活用し、最新の情報を発信しています。それらの情報は観光協会の各支

部が情報を収集しており、また、自然博物館やビジターセンター、インタープリターなどの団体の協力を頂いて、情報収集に努めているところです。今後、更に情報収集を図れる仕組みづくりについて、観光協会と協議していきます。

⑥奥日光への定住促進について

〈参加者の発言要旨〉

奥日光は住民が少なくなっている事実があります。若い人が来れば一番いいのですけれども、奥日光の風土をしっかりと理解して、喜んで住んでくれるという方をなんとか呼びたいと思っていますが、何か案はありませんか？

〈市側の発言要旨〉

一部の年代への宣伝だけでは足りないというところが奥日光の難しさなのだと思いますし、幅広い年代へ奥日光の自然をどのように見せるかがポイントだと思います。情報の発信については、研究をさせていただきます。

◇対応方針・対応状況

市では、東京に日光市観光情報発信センターを設置し、日光市の観光情報をメディアに発信し、首都圏で日光の露出度を高めています。その中で、奥日光の自然やイベントなどの情報も発信しています。今後とも、日光市の魅力を更に効果的に発信することにより、交流人口を増やしていき、定住人口につなげていきたいと思っています。

⑦観光統計宿泊調査について

〈参加者の発言要旨〉

観光統計宿泊調査というものがあり、宿泊数、団体、個人、という項目はありますが、世代別の項目はありません。世代別の項目を設けたら、世代別の動向が分かると思います。また、リピート率に関しても項目がありません。せっかく観光統計を取るのであれば、そういったもので年毎の動向を把握して、事業者にもフィードバックしてもらえれば非常に助かります。

〈市側の発言要旨〉

今回この調査を行ったのは、栃木県だと思いますが、次回以降そういったもの

も含めて調査していただいて、できれば地元にも情報を下ろしていただけるようお願いをしていきたいと思えます。また、今後、市が調査するものについては、こういった調査も参考にさせていただいた中で、統計を取るようになっていきたいと思えます。

◇対応方針・対応状況

毎年度2回(7月、1月)に観光統計を実施しています。宿泊者数については、ホテル、旅館等の宿泊施設に調査表を依頼して実施しているところです。宿泊事業者においては、受付の際に年齢、リピート回数などを確認していないことから、調査でそれらの項目について、回答することは難しいと考えます。例年行っている観光統計とは別に、日光市では、今年、観光統計動態調査を実施しています。その中では、観光客の属性やリピート率などの調査も行っていますので、その結果については、情報提供していきます。

⑧世界遺産センターの設置について

〈参加者の発言要旨〉

石見銀山とか平泉の辺は、とても世界遺産に対して熱意のこもっている世界遺産センターを造って、どんどん観光客や地元の人たちにアピールをしています。二社一寺を大切にす、世界遺産を大切にす地域として、そういう拠点となるものを造っていただけないかなと思えます。

〈市側の発言要旨〉

市内の公共施設を活用して設置できないかという検討は一度行っていますが、今の時点では進んでいない状況です。今回このような提案をいただきまして、また改めて検討し始めたいかなと思えます。世界遺産の周知という点では、市ホームページや街歩きナビの中で見られるとか、ICTを活用したところでは実施していると思えます。ただ、現地で実際に事前学習をするようなところはないものですから、検討したいと思えます。

◇対応方針・対応状況

世界遺産「日光の社寺」を、スケール感を持って案内するためにはガイド施設は有効であると思えますが、設置については、既存の施設の活用、渋滞対策、駐車場を含む土地の確保等の問題もあり、引き続き検討を続けていく予定です。

「史跡日光山内」の文化財については、国・県・日光市・社寺等のホームページや、日光市発行の文化財マップなどで解説されており、見所や見学先の決定などに必要な事前学習については、ある程度対応可能と考えています。

⑨日光市のアプリについて

〈参加者の発言要旨〉

市の情報をみんなが知っている状態にしたいので、市を巻き込んだアプリづくりをしたいと思いました。アプリ作りにみんなが参加してくれれば、より多くの情報も集まるとは思いますが、市としてのアプリを作る計画はないのでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

アプリに関しては、市では6年前ぐらいから始まっています。その情報が、市民の方に行き渡っていないと思いますので、そこは反省して、どのように広めるか検討します。

◇対応方針・対応状況

観光情報アプリ「日光街歩きナビ」の周知につきましては、ポスター及びチラシを作成し、宿泊施設や駅構内等に設置するほか、JR日光線車両内にポスターを掲出するなど主に観光客用としていましたが、市民にも広く知ってもらうため、市内の観光施設等にも設置するとともに、観光パンフレットにQRコードを表記し、利便性の向上を図りました。

⑩6次産業の推進について

〈参加者の発言要旨〉

例えば、今市地域の農林業と、日光地域の観光業や商業の融合ができないかなと思います。例えば、今市産のニラを料理して、日光地域でお土産として売るのは、本当の意味での6次産業化をぜひ、市役所や商工会議所で提案していただいて、みんなの知恵を集めて、それを出すということをお願いしたいと思っています。

〈市側の発言要旨〉

日光市農商工観連携・ビジネス創出促進事業というものがあります。市のほうにご相談いただければ今ある制度の中で支援できるかもしれません。そういう取り組みについては、まだ遅れている部分もありますので、市に相談していただければ、新たに制度をつくる、今ある制度を拡大していくなど、そういったところで取り組んでいければと思います。

◇対応方針・対応状況

農業の持続・発展による農村地域の活性化を目的として策定した「日光市農業成長戦略計画」において、産業連携を主要な戦略として位置付けています。

具体的には、日光市産農産物の利用促進のため、農業者と、観光・商工業者との異業種間の交流事業や、インターネットを通じた情報発信等、需給双方のマッチングに取り組んでいきます。

また、商品開発に関しては、市の「日光市農産物ブランド化支援事業補助金」を活用いただける可能性がありますので、ご相談ください。

⑪自治会での高齢者送迎用車両に係る保険について

〈参加者の発言要旨〉

自治会で高齢者の送迎用に車両を使うときの保険料を市で出してもらえないですか。

〈市側の発言要旨〉

その保険に関しては、自治会の中で補ってもらおうというのが一番すっきりすると思います。もしその保険に対する補助の仕組みを作るのであれば、利用する自治会には全部一律に補助をするというのが筋だと考えます。その保険を利用している自治会がどのくらいあるのか、また保険を掛けなくても送り迎えで事故があったときには、自己責任で保険の中で賄うこととしているところもあるかもしれませんから、そこはどのようなスタイルがいいのか、研究の余地はあると思います。

◇対応方針・対応状況

自治会が行う互助活動について、今後ますます必要となることは認識しています。しかしながら市の財政状況も厳しいことから、どこまで支援が可能なのが検討していきます。